

バーコード作成ソフト
『BarCode作成管理くん』
マニュアル



株式会社 **NCE**

Next Computer system Engineering Co.LTD.

目 次

1. 概要	1
2. 導入手順	1
3. 画面各部の説明	2
4. 作成されたバーコードの利用方法について	3

1. 概 要

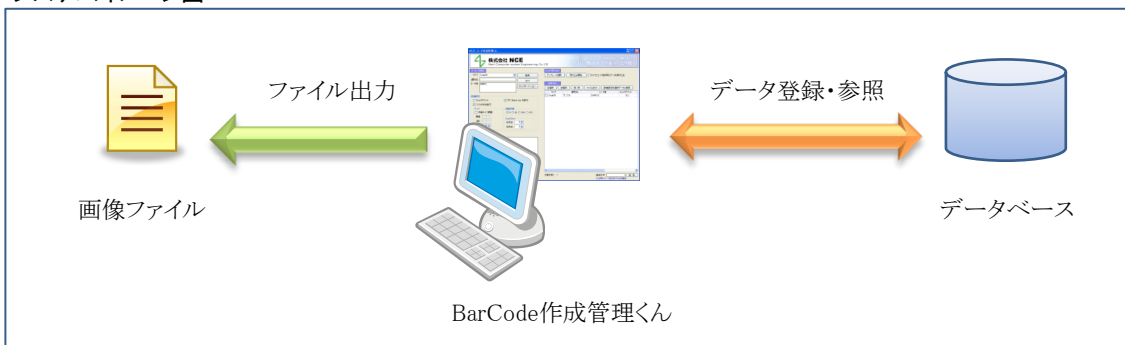
BarCode作成管理くん(以下、本ソフトウェア)は、株式会社NCEが著作権を有するソフトウェアです。
本ソフトウェアは各種バーコードの作成と管理を主な目的としています。
チェックデジットの自動計算、サイズ設定や回転処理を備えており、数値と種類の指定のみで簡単にバーコードを出力できます。
入力した内容はデータベース(以下、DB)^{※1}に登録できるため、いつでも再利用できます。
また、一括で設定変更が可能でメンテナンス性に優れています。

※1 データベースはインストール時に導入されます。個別の設定は必要ありません。

■ 対応バーコードタイプ

Code39	Code49	Code93	Code128	PostNet	NW7
JAN8	JAN13	EAN128	ITF	UPC	JapanesePostal
PDF417	QRCode	RSS14	RSS14Truncated		RSS14Stacked
RSSExpanded		RSSExpandedStacked	RSS14StackedOmnidirectional		

■ システムイメージ図



2. 導入手順

■ 動作環境

本ソフトウェアを動作させるために次の環境を必要とします。

OS	Windows7(32ビット版)
HDD	500MB以上の空容量
メモリ	1GB以上推奨
ディスプレイ	Hight Color 16ビット以上 表示できる環境1,024×768以上
Microsoft Excel	インポート用にバージョン2000以上

■ インストールについて

「setup.exe」を開くとインストールが開始されます。
本ソフトウェアの動作に必要な環境がインストールされているかチェックを行い、足りない要素をインストールします。
画面の指示に従ってインストールを完了させてください。

■ アンインストールについて

「アプリケーションの追加と削除」または「プログラムの追加と削除」か「プログラムと機能」から行ってください。

■ 注意事項

本ソフトウェアのインストールをされた場合、インストール時に表示される使用許諾契約書に同意されたものとします。
使用許諾契約書をよくお読みになってご納得の上でインストールを行ってください。
本ソフトウェアを無断で掲載、複製、販売等の行為を禁止します。

3. 画面各部の説明

■ 画面レイアウト



登録・更新モードの切り替えについて

バーコード情報を新規登録する「登録モード」と、登録済みデータを更新する「更新モード」があります。

登録モード

起動後の初期表示と、「クリア」した後の状態が登録モードになります。

更新モード

「登録済み」内のデータをクリックすると、その内容が「バーコード設定」に展開され、更新モードとなります。

■ バーコード設定

カテゴリー	項目	入力形式/制限等	説明
基本設定	タイプ	選択式	作成するバーコードタイプを選択します。
	識別名	最大255文字	バーコードを識別する名称を入力します。
	コード値	最大255文字	バーコード化対象の文字を入力します。
詳細設定	チェックデジット	選択式	チェックデジット文字を付加する場合は☑にします。
	入力文字を表示	選択式	コード値を表示する場合は☑にします。
	ITF Bearer Bar を表示	選択式	タイプがITFの場合に、☑で囲み線を表示します。
	手動サイズ調整	選択式	任意のサイズを指定する場合は☑にします。
	横幅	数値のみ	手動サイズ調整が☑の場合、横幅を入力します。
	高さ	数値のみ	手動サイズ調整が☑の場合、高さを入力します。
	DPI	数値のみ	ビットマップ出力時の解像度を入力します。
	回転角度	選択式	バーコードの回転角度を選択します。
その他	ファイル形式	選択式	バーコードの保存ファイル形式を選択します。
	登録 / 更新	ボタン	画面の設定でデータベースに登録 / 更新します。
	クリア	ボタン	画面を初期表示の状態に戻します。
	クリップボードへコピー	ボタン	プレビューのバーコードをクリップボードへコピーします。

■ プレビュー

バーコード設定で、入力・選択された内容から作成されるバーコードを表示します。

■ Excel/CSV取り込み

項目	入力形式/制限等	説明
テンプレートを開く	ボタン	取り込み用のExcel/CSVテンプレートファイルを開きます。 データを入力した後に別名保存してください。
取り込み開始	ボタン	Excel/CSVファイルを指定して取り込みを開始します。
タイプとコード値が同じデータも取り込む	選択式	DBに同じタイプ・コード値のデータが存在しても、別データとして取り込む場合は☑にします。
1行目はタイトルとする	選択式	CSVファイルの1行目がタイトル行の場合に☑にします。

■ 登録済み

項目	入力形式/制限等	説明
全選択 / 全解除	ボタン	登録済みデータを選択(☑) / 解除(☐)します。
削除	ボタン	選択(☑)されたデータを削除します。
ファイル出力	ボタン	選択(☑)されたデータをファイル出力します。
詳細設定を選択データに適用	ボタン	詳細設定を選択(☑)に適用します。
検索文字	最大255文字	登録済みデータを検索する文字列を入力します。
検索	ボタン	検索文字で検索を行います。検索文字が空の場合は全件表示します。

4. 作成されたバーコードの利用方法について

本ソフトウェアで作成したバーコードは用途に合わせてご利用いただけます。

ここではExcelシートに貼り付ける方法と、バーコードを読み込んでExcelシートのセルに入力する方法について説明します。

※以下の説明は一例です。

■ Excelシートに貼り付ける方法

プレビューのバーコードを利用したい場合

1. 必要項目を入力してプレビューにバーコードを表示させます。
2. 「クリップボードへコピー」ボタンをクリックします。
3. Excelの画面で「右クリック → 貼り付け」を選択します。

画像ファイルで出力したバーコードを利用したい場合

1. Excel画面でメニューから「挿入 → 図」を選択します。
2. ファイル選択画面が表示されるので、対象の画像ファイルを選択します。

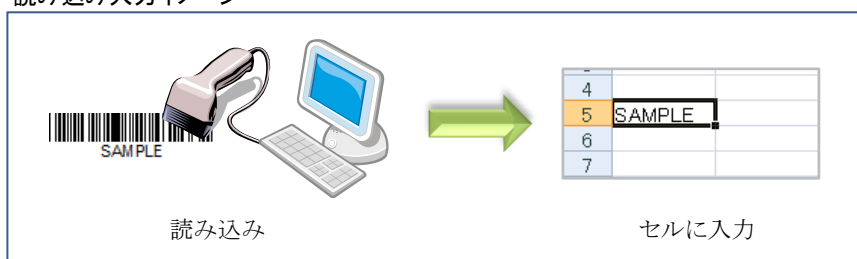
バーコード貼り付けイメージ



■ バーコードを読み込んでExcelシートのセルに入力する方法

1. 本ソフトウェアを使用して作成したバーコードを印刷します。
(上記「Excelシートに貼り付ける方法」で、バーコードを貼り付けたExcelシートを印刷するとします)
2. パソコンにバーコードリーダーを接続します。
3. Excelシートを開いて、入力したいセルを選択してバーコードをスキャンします。
セルに読み込んだ値が入力されます。

読み込み入力イメージ



※ バーコードリーダーの設定で、読み取り後に改行コードを出力する設定にすれば、次のセルへ移動するため便利です。

※ 例として商品番号をバーコード化すれば、入力作業も飛躍的に早くなります。

※ 詳しい設定はバーコードリーダーの取扱説明書をご覧ください。

■ 作成されたバーコードについて

本ソフトウェアはチェックデジット、サイズ等の設定値により読み取り不可能なバーコードが作成される場合があります。

また、作成された画像に拡大・縮小などの加工を行った場合も、読み取りができない場合があります。

ご使用の際は、バーコードリーダーにて読み取りの確認テストをお願い致します。

株式会社NCE

- | | |
|--------|--|
| ■ 本社 | 〒963-0107 福島県郡山市安積三丁目301番地
TEL: (024)937-1050
FAX: (024)937-1051 |
| ■ 静岡支店 | 〒424-0812 静岡県静岡市清水区小芝町3番8号
TEL: (054)361-5100
FAX: (054)361-5101 |

【BarCode作成管理くん】お問い合わせ先
bc_kun@nce.co.jp

※ お電話でのお問い合わせは、原則受け付けておりません。
お手数でもメールにてお願いいたします。
また、よくあるご質問は弊社Webサイトにて公開しておりますので
ご利用ください。

<http://www.nce.co.jp/support/sbarcode/>